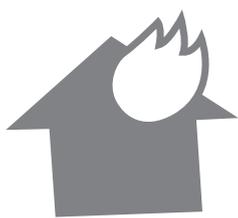


ぼうさい
防災

かんが
のことを考えてみませんか

しょうがい かた
障害のある方のための
さいがい じ しょ どう こう どう
災害時初動行動マニュアル
ちてきしょうがいしゃへん
(知的障害者編)

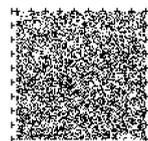


このマニュアルは、^{おお}大きな^{じしん}地震など、^{だいきぼ}大規模な^{さいがい}災害が^{はっせい}発生した
ときに^{あわ}慌てずに^{こうどう}行動ができ、^{ひつよう}必要な^{しえん}支援を^う受けられるようにま
とめたものです。

^{ほんにん}ご本人はもちろん、^{かぞく}ご家族の方も^{かた}一緒にこのマニュアルを^{いっしょ}活用
して、^{じゅんび}できるところから^{はじ}準備を始めてみましょう。

ポイント

- ① ^{さいがい}災害に^{そな}備えて^{じぜん}事前に^{じゅんび}準備する。
- ② このマニュアルを^{じぶんせんよう}自分専用のマニュアルにする。
- ③ ^{かぞく}家族や^{しえん}支援の人と^{ひと}一緒に^{いっしょ}準備する。



じぜん じゅんび ほんにんへん
事前に準備するもの (本人編)

◆ **非常持ち出し袋を用意しましょう** (用意ができたなら□にチェック)

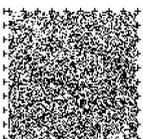
かぞく しえん ひと いっしょ じゅんび
 家族や支援の人と一緒に準備をしましょう。

じゅんび なかみ ていきてき みなお
 準備したら中身は定期的に見直しましょう。

なか い 中に入れるもの		
<input type="checkbox"/>	た 食べもの・おかし (2・3食分) しよくぶん	
<input type="checkbox"/>	の みず 飲み水 (500mlペットボトルを1～2本) ほん	
<input type="checkbox"/>	くすり いつものお薬 (3日分) みっかぶん	
<input type="checkbox"/>	き が 着替え・マスク・タオル	
<input type="checkbox"/>	てちょう 手帳・ヘルプカードのコピー (内容が書いてあるもの) ないよう か	
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

リュックサックに入れ、いつでも持ち運べる場所に置きましょう。

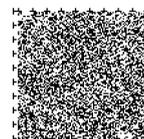
ヘルプカードは4ページで説明しています。



◆ ^{ひなん}避難する時に^{とき}身につけるものを^{ようい}用意しましょう

^{ひじょうも}非常持ち出し袋の^だ近くに^{ちか}置いて^おおきましょう。

身につけるもの		
<input type="checkbox"/>	^{うんどう ぐつ} 運動靴や ^{あんぜん ぐつ} 安全靴 (動きやすい靴)	
<input type="checkbox"/>	^{ぐんて} 軍手や ^{じょうぶ} 丈夫な ^{てぶくろ} 手袋	
<input type="checkbox"/>	ヘルメットや ^{ぼうさい} 防災ずきん	
<input type="checkbox"/>	^{ふえ} 笛やホイッスル	
<input type="checkbox"/>		



じぜん じゅんび ほんにん かぞく しえんしゃへん
事前に準備するもの（本人および家族・支援者編）

べんり
◆ あると便利なもの

必要に応じて表に無いものでも書き込み準備をしましょう。但し、最小限に抑え、家族や支援する方と相談して準備をしていきましょう。

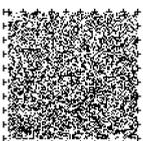
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/> 現金
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> 健康保険証のコピー
<input type="checkbox"/> 予備の電池	<input type="checkbox"/> タオル(大小数枚)	<input type="checkbox"/> お薬手帳・処方箋のコピー
<input type="checkbox"/> 補助具(食器など)	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> 障害者手帳のコピー
<input type="checkbox"/> アイマスクや耳栓	<input type="checkbox"/> 救急医薬品・常備薬	<input type="checkbox"/> 医療受給者証のコピー
<input type="checkbox"/> エマージェンシーブランケット		

も ある
◆ いつでもヘルプカードを持ち歩きましょう。

ヘルプカードは災害のときだけではなく、生活をする中で困ったとき、助けが必要なときに使いましょう。

非常持ち出し袋にはヘルプカードのコピーを入れておきましょう。

個人情報をおおきに多く記入します。なくさないようにしましょう。



◆ ヘルプカードは名前、^{なまえ}生年月日、^{せいねんがっぴ}避難場所、^{ひなんばしょ}障害の症状などを書
いておきましょう。

話を^{はなし}するのが^{にがて}苦手な方は、「安全な場所^{かた}に連れて^{あんぜん}いってください。」^{わたし}「私が^{わたし}無事^{むじ}であることを^{かぞく}家族へ^{れんらく}連絡^{れんらく}してください。」^{ひなんばしょ}「避難場所^{ひなんばしょ}に連れて^ついってください。」と^か書いておきましょう。

家族^{かぞく}や支援^{しえん}の人^{ひと}と話し^{はな}合^あって、事前^{じぜん}に避難場所^{ひなんばしょ}を決^きめておきましょう。

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード

ちよう ふ し
調布市

♥下記に連絡してください♥

私の名前 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

♥緊急連絡先

名前 _____ ☎ ()

名前 _____ ☎ ()

私の医療情報+

血液型 _____ 型

障害・病名 _____ Rh (+ -)

かかりつけ病院 _____

医師 _____ ☎ ()

飲んでいる薬 _____

♥私は _____

筆談をお願いします

何が起こっているのか教えてください

わかりやすい言葉で話してください

☎電話をかけてください

緊急連絡先 救急車 警察 タクシー

+アレルギー _____

にがて

+苦手なこと _____

♥私が手伝ってほしいこと♥

カードを記入した日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

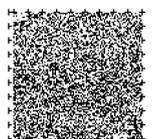
◆ ヘルプカード (無料)

障害のある人には自分が「困った」と伝えられない人がいます。手助けが必要なのに「困っていることを伝えられない人」「困っていることを自覚できない人」もいます。「ヘルプカード」は障害のある人が普段から身に付けていることで、緊急のときや災害のときなど、困った際にまわりの気づかみや手助けをお願いしやすくするものです。

配付場所：障害福祉課

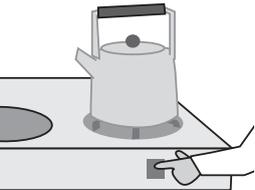
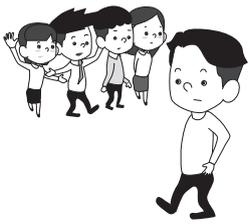
対象：市内に住所を有する障害のある方

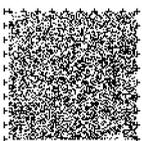
電話番号：042-481-7089・7094・7135



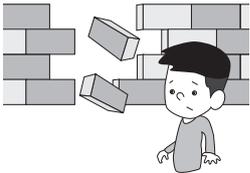
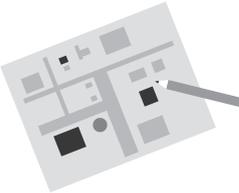
み まも かた ほんにんへん
身の守り方 (本人編)

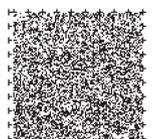
ひとり じたく
一人で自宅のなかにいるとき

<p>①</p>	<p>あたま からだ まも 頭や体を守りましょう！</p> <p>つくえ した はい ぼうさい ・机やテーブルの下に入ったり，ヘルメットや防災ずきん， クッションや布団であたま からだ まも を守りましょう。</p>	
<p>②</p>	<p>いえ なか ひ け 家の中の火を消しましょう！</p> <p>だんぼう ・暖房・ストーブ・ガスコンロなどスイッチを切りましょう。</p>	
<p>③</p>	<p>じたく かぞく しえん ひと ま 自宅で家族や支援する人を待ちましょう。</p> <p>かぞく しえん ひと き いっしょ い ・家族や支援する人が来たら，一緒に居ましょう。</p> <p>かぞく しえん ひと じぜん き ・家族や支援する人と事前に決めたことをしましょう。</p> <p>・「 」に助けを求める。</p> <p>・「 」に電話する。</p> <p>でんわばんごう ・電話番号: — —</p>	
<p>④</p>	<p>ひ じょう も だ ぶくろ も 非常持ち出し袋を持ちましょう！</p> <p>じゅんび ・準備をしていない，見つからない場合は持たずに避難し ましょう。</p>	
<p>⑤</p>	<p>まわ ひと み 周りの人にヘルプカードを見せましょう。</p> <p>かぞく しえん ひと れんらく と まわ ひと ひじょう ・家族や支援する人と連絡を取るため周りの人に，非常 持ち出し袋に入れてあるヘルプカードのコピーを見せま しょう。</p>	



ひとり がいしゅつ
一人で外出をしているとき

<p>①</p>	<p>あたま からだ まも 頭や体を守りましょう！</p> <p>・カバンやリュックで頭や体を守りましょう。</p>	
<p>②</p>	<p>あぶ ばしょ はな 危ない場所から離れましょう！</p> <p>・自動販売機やブロック塀、電信柱や切れた電線、割れたガラスから離れましょう！</p>	
<p>③</p>	<p>でんしゃ の 電車やバスに乗っていたら。</p> <p>・駅員さんや乗務員さんに助けを求めて一緒に移動しましょう。</p> <p>・助けを求めるときはヘルプカードを見せましょう。</p>	
<p>④</p>	<p>まわ ひと しじ したが 周りの人の指示に従いましょう。</p> <p>・店員や従業員の人の指示に従いましょう。</p> <p>・エレベーター，エスカレーターは使わない！</p>	
<p>⑤</p>	<p>・近くに誰もいないときは，家族や支援する人と決めたことをしましょう。</p> <p>・「<input type="text"/>」に助けを求める。</p> <p>・「<input type="text"/>」に電話する。</p> <p>・電話番号：<input type="text"/> - <input type="text"/></p>	
<p>⑥</p>	<p>・周りの人にヘルプカードを見せ、助けてもらいましょう。</p>	



じしんはっせいちよくご

① 地震発生直後

- 座る、這うなど姿勢を低くし、何かにつかましましょう。
- ヘルメットや防災ずきんをかぶったり、頑丈な机やテーブルの下に隠れ、頭や体を守りましょう。
- 戸を開けて、出入り口の確保をします。
- 暗闇では、割れた窓ガラスや照明器具の破片だけがをしやすいので注意しましょう。
- 無理して火を消しに行くと調理器具が落ちてきて、やけどなどをしたりするので、揺れが収まるまで待ちましょう。
- 棚や棚に乗せてあるもの、テレビなどが落ちてきたりするので、離れて揺れが収まるのを待ちましょう。

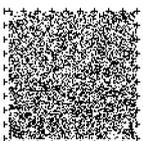
② 揺れがおさまったら

- 落ち着いて火を消します。消せなければ、その場からすぐに離れましょう。
- 靴を履いてガラスの破片などから足を守り、避難の準備をしましょう。
- 助けてほしいときは、緊急用ホイッスルやブザーを鳴らす、物を叩くなど音を出しましょう。
- 余震に注意しましょう。家屋が倒壊するおそれがあるときはすぐに避難しましょう。

③ 避難先では

- 引き続き余震に注意しましょう。
- 助け合いの心を忘れず、集団生活のルールを守りましょう。
- 非常用出口などがある場合は確認しておきましょう。

※ ●は災害直後に注意すること、○は事前に準備しておくこと



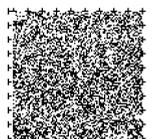
④ がいしゅつさき 外出先では

- 通所先や職場，デパートやコンビニなどでは，周りの人の指示に従いましょう。
- 街の中では，頭をカバンなどで保護しながら，自動販売機，建物の壁ぎわや塀ぎわから離れましょう。
- 電車やバスが止まってしまったら，駅員や乗務員の人にヘルプカードを見せ，安全な場所へ移動しましょう。

⑤ ひなん 避難するときは

- 一人では避難せず，誰かと避難しましょう。
- 誰も近くにいない場合は，笛やブザーを使って助けを呼びましょう。
- 近くの人にヘルプカードを見せ，家族や支援する人と連絡を取りましょう。
- 自分の地域の避難場所を確認しておきましょう。

※ ●は災害直後に注意すること，○は事前に準備しておくこと



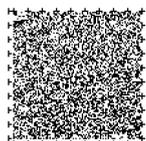
⑥ じぶん あたま からだ まも ⑥ 自分の頭や体を守るために

- 座る、這うなど姿勢を低くし、何かにつかましましょう。
- ヘルメットや防災ずきんをかぶったり、頑丈な机やテーブルの下に隠れ、頭や体を守りましょう。
- 戸を開けて、出入り口の確保をします。
- 暗闇では、割れた窓ガラスや照明器具の破片でけがをしやすいので注意しましょう。
- 非常用出口などがある場合は確認しておきましょう。
- ヘルメット・防災ずきんの置き場を決めておきましょう。
- 倒れて怪我をしそうなものはあらかじめ固定しましょう。

⑦ いえ なか ⑦ 家の中では・・・

- 揺れがおさまったら、落ち着いて火を消します。消せなければ、その場からすぐに離れましょう。
- 無理して火を消しに行くと調理器具が落ちてきてやけどなどをしたりするので、揺れが収まるまで待ちましょう。
- 棚や棚に乗せてあるもの、テレビなどが落ちてきたりするので、離れて揺れが収まるのを待ちましょう。
- 助けてほしいときは、緊急用ホイッスルやブザーを鳴らす、物を叩くなど音を出しましょう。
- 揺れを感じて自動的にガスの供給を停止するガス漏れ遮断器（ガスマイコンメーター）がほとんどのご家庭に設置されています。特性や使い方を十分に理解しておきましょう。

※ ●は災害直後に注意すること、○は事前に準備しておくこと



ぼうさい はいふ
防災グッズの配布

◆ **救急医療情報キット (無料)**

緊急時に必要となる本人の医療情報や緊急連絡先、薬などを入れて、冷蔵庫に保管しておく筒状の容器です。自宅で緊急時や災害時に救急隊員などがキットの中の情報を確認し速やかな医療活動につなげることができます。①または②に該当される方が対象です。



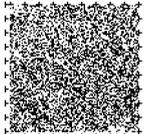
① 市内に住所を有する在宅の65歳未満で次の手帳をお持ちの方で以下のどれかに該当される方

身体障害者手帳をお持ちで、1級から3級の方
精神障害者保健福祉手帳をお持ちで、1級から2級の方
愛の手帳をお持ちの方

- 配付場所：障害福祉課
- 時間：午前8時30分から午後5時15分まで
(土曜・日曜・祝祭日定休)
- 電話番号：042-481-7089・7094・7135
- FAX番号：042-481-4288
- Eメールアドレス：syougai@w2.city.chofu.tokyo.jp

② 市内に住所を有する在宅の65歳以上の方

- 配付場所：高齢者支援室高齢福祉担当
- 時間：午前8時30分から午後5時15分まで
(土曜・日曜・祝祭日定休)
- 電話番号：042-481-7150
- FAX番号：042-481-4288
- Eメールアドレス：kourei@w2.city.chofu.tokyo.jp





◆ **調布市防災手帳 (無料)**

緊急時の連絡先や掛かり付けの医師などの情報を記載できるスペースを設けています。「書き込む」という作業を通して、ご自身の防災情報の整理・再確認に役立ててください。

■ **配布場所**：文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課

調布市役所本庁2階 障害福祉課，または3階 福祉総務課

総合福祉センター1階・2階 (調布市小島町 2-47-1)

■ **時間**：午前8時30分から午後5時15分まで

(土曜・日曜・祝祭日定休)

■ **電話番号**：042-481-7346

■ **FAX番号**：042-481-7255

■ **Eメールアドレス**：bousai@w2.city.chofu.tokyo.jp

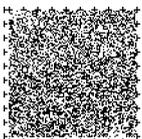
◆ **電話お願い手帳 (無料)**

耳や言葉の不自由な方やお年寄りが、外出先で用件や連絡先などを書いて、近くの人に協力をお願いする際に使用していただくものです。

街角でお願いされましたら、ご協力をお願いします。

■ **配付場所**：障害福祉課

■ **電話番号**：042-481-7089・7094・7135



◆ 総合的な防災情報メール

事前にご登録いただいた方に、地震情報、気象警報・注意報、防犯・犯罪情報、市から緊急にお知らせしたい情報をメールにて配信いたします。

■ 問い合わせ：総合防災安全課（文化会館たづくり西館3階）

■ 電話番号：042-481-7346

登録方法

[c-bousai@sg-m.jp] に空メールをし、返信されてきたメールにて登録手続きを行ってください。

◆ 調布市災害要支援者台帳

調布市では災害時に支援を要すると見込まれる方々を把握し、迅速な支援に役立てるために、この台帳を作成しています。

下記①から③のいずれかをお持ちの方で市内在住の方が対象になります。

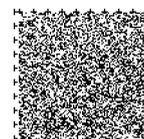
① 身体障害者手帳をお持ちで、1級から3級の方

② 精神障害者保健福祉手帳をお持ちで、1級から2級の方

③ 愛の手帳をお持ちの方

■ 問い合わせ：障害福祉課

■ 電話番号：042-481-7089・7094・7135



◆ ちょうふしひなんこうどうようしえんしゃめいぼ 調布市避難行動要支援者名簿

ちょうふし さいがいじ しえん よう み こ かがた はあく し
調布市では、災害時に支援を要すると見込まれる方々を把握するため、市
かんけいぶかくか はあく こうれいしゃ しょうがいしゃ じょうほう あつ どうい え
の関係部各課で把握している高齢者や障害者などの情報を集め、同意が得ら
れた方の名簿情報を避難支援等関係者に提供しています。

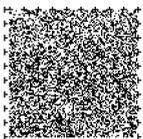
■ と あ ふくし そうむか
問い合わせ：福祉総務課

■ じ かん ごぜん じ ぶん ごご じ ぶん
時間：午前8時30分から午後5時15分まで
どよう にちよう しゅくさいじつていきゅう
(土曜・日曜・祝祭日定休)

■ でんわばんごう
電話番号：042-481-7101・7102

■ ばんごう
FAX番号：042-481-7058

■ E メールアドレス：fukusou@w2.city.chofu.tokyo.jp



さいがいじひなんじょ 災害時避難所マップ

① 一次避難所

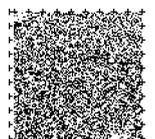
地震など震災に限らず、大雨や台風など、災害時に住んでいる家屋が倒壊したり、火災で住めなくなったとき、しばらくの間の生活の場となります。市では小中学校施設及び都立高校を一次避難所として指定しています。

② 二次避難所

一次避難所での生活が困難な障害者や高齢者などの要配慮者のために、地域福祉センターなどの公共施設を二次避難所として指定しています。ただし、災害発生直後は、要配慮者においても、まず一次避難所で受け入れを行い、状況に応じて二次避難所の開設を行います。なお、二次避難所の開設は災害発生から概ね3日後となります。

③ 広域避難所

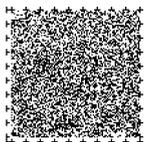
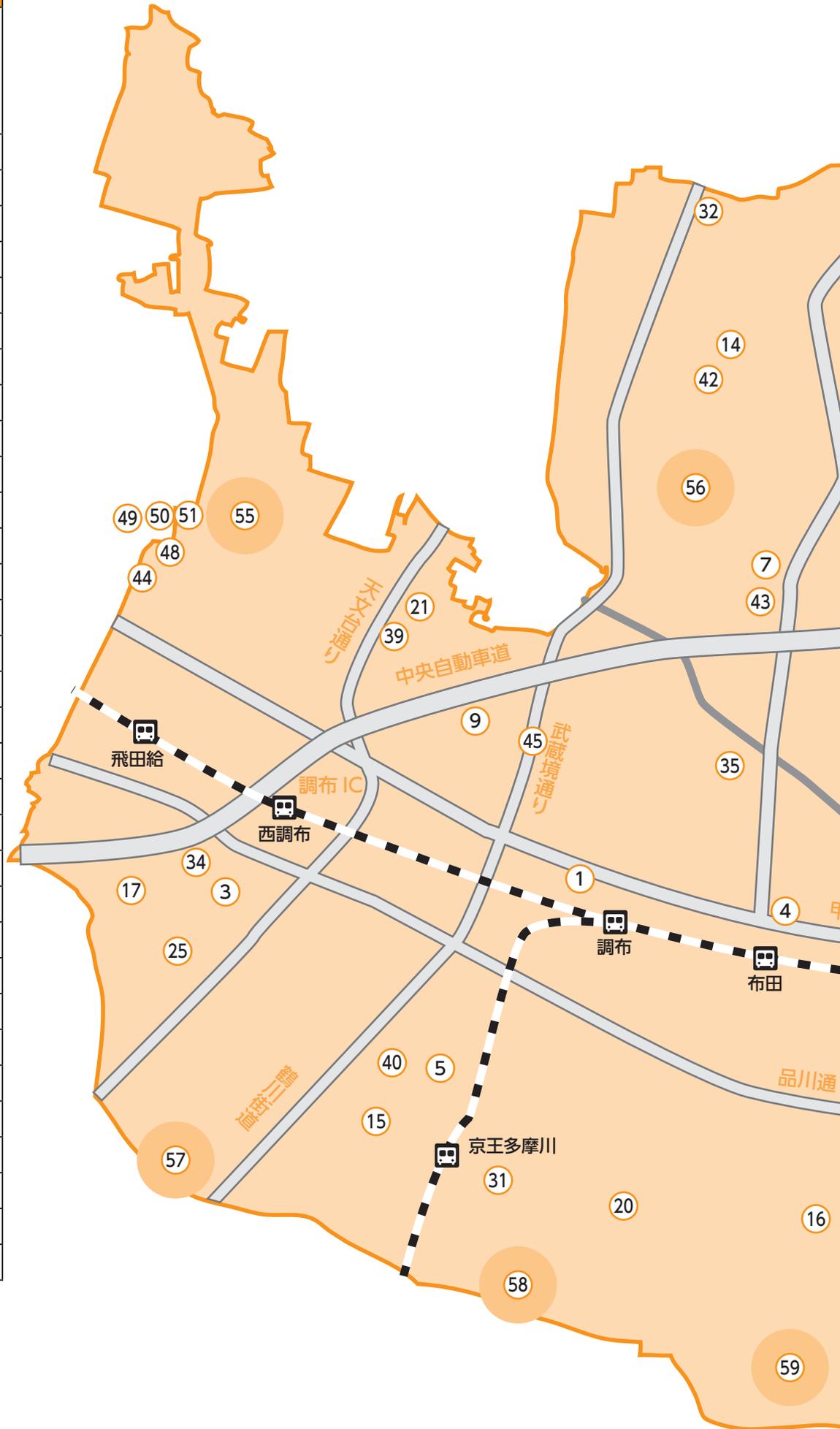
大地震のときに発生する延焼火災やその他の危険から避難者の生命を保護し、火の勢いが収まるのを待つ場所のことです。



いちじびなんじょ
一次避難所

大地震等による家屋の倒壊、焼失などで被害を受けた方や、被害を受ける恐れのある方を一時的に受け入れ、保護するために開設する学校等の公共施設。

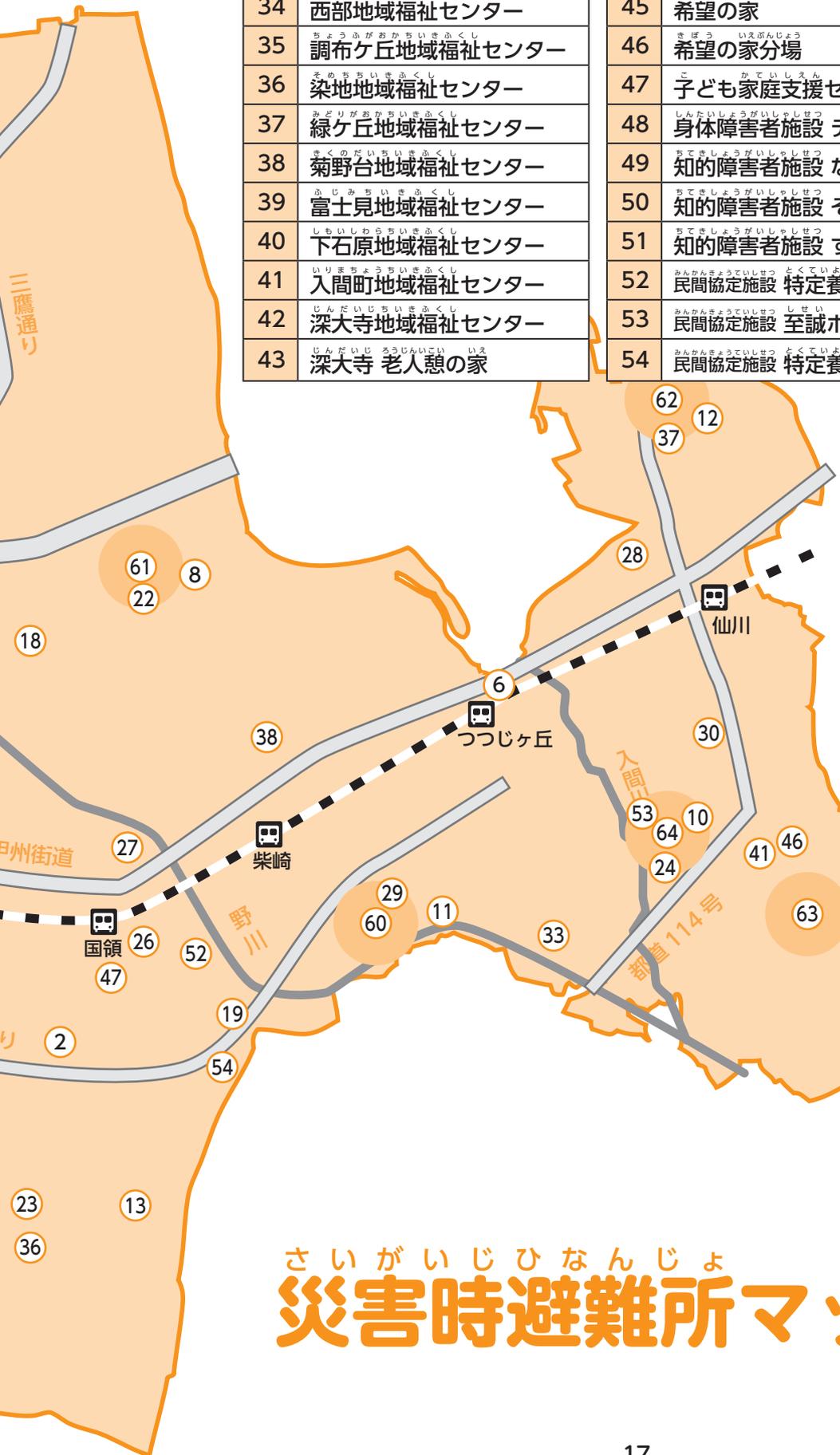
1	第一小学校
2	第二小学校
3	第三小学校
4	八雲台小学校
5	富士見台小学校
6	滝坂小学校
7	深大寺小学校
8	上ノ原小学校
9	石原小学校
10	若葉小学校
11	調和小学校
12	緑ヶ丘小学校
13	染地小学校
14	北ノ台小学校
15	多摩川小学校
16	杉森小学校
17	飛田給小学校
18	柏野小学校
19	国領小学校
20	布田小学校
21	調布中学校
22	神代中学校
23	第三中学校
24	第四中学校
25	第五中学校
26	第六中学校
27	第七中学校
28	第八中学校
29	大町スポーツ施設
30	都立神代高校
31	都立調布南高校
32	都立調布北高校



にじひなんじょ ふくしひなんじょ
二次避難所 (福祉避難所)

避難所等での生活が困難な障害者や高齢者などの要配慮者のための避難場所として、地域福祉センター及び老人憩の家等の公共施設。災害発生直後は、要配慮者においても、まず一次避難所で受け入れを行い、状況に応じて二次避難所の開設を行います。なお、二次避難所の開設は発災から概ね3日後となります。

33	金子地域福祉センター	44	子ども発達センター
34	西部地域福祉センター	45	希望の家
35	調布ヶ丘地域福祉センター	46	希望の家分場
36	染地地域福祉センター	47	子ども家庭支援センターすこやか
37	緑ヶ丘地域福祉センター	48	身体障害者施設 デイセンター まなびや
38	菊野台地域福祉センター	49	知的障害者施設 なごみ
39	富士見地域福祉センター	50	知的障害者施設 そよかぜ
40	下石原地域福祉センター	51	知的障害者施設 すまいる
41	入間町地域福祉センター	52	民間協定施設 特定養護老人ホーム かしわ園
42	深大寺地域福祉センター	53	民間協定施設 至誠ホーム調布 若葉ケアセンター
43	深大寺 老人憩の家	54	民間協定施設 特定養護老人ホーム ときわぎ国領

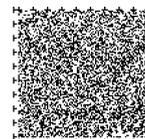


こういきひなんじょ
広域避難所

大地震時に発生する延焼火災やその他の危険から避難者の生命を保護するために必要な面積を有する大規模公園、緑地等のオープンスペース。

55	調布基地跡地運動広場及び大沢総合グラウンド一部
56	都立神代植物公園周辺及び自由広場
57	多摩川河川敷(第1区)周辺(府中市境～多摩川原橋)
58	多摩川河川敷(第2区)周辺(多摩川原橋～二ヶ領堰)
59	多摩川河川敷(第3区)周辺(二ヶ領堰～狛江市境)
60	市立調和小学校周辺
61	市立神代中・上ノ原小学校周辺
62	市立緑ヶ丘小学校周辺
63	NTT東日本研修センター
64	市立第四中・若葉小学校周辺

さいがいじひなんじょ
災害時避難所マップ



市内の相談支援機関

① 調布市役所 障害福祉課

障害のある方の生活に関する相談に応じます。

また、市内の相談支援事業所と協力して支援します。

開所時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

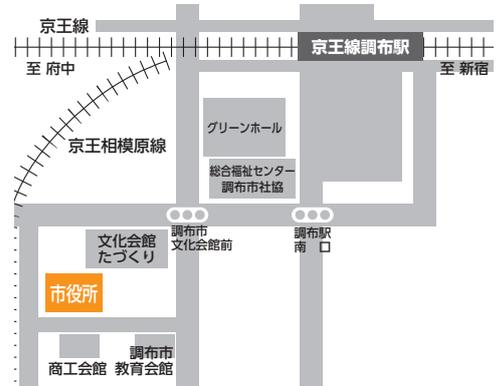
※土曜・日曜・祝祭日定休

住所：調布市小島町 2-35-1 調布市庁舎 2 階

電話番号：042-481-7094 (直通)

FAX番号：042-481-4288

Eメールアドレス：syougai@w2.city.chofu.tokyo.jp



② 社会福祉法人 調布市社会福祉事業団

調布市障害者地域生活・就労支援センター ちょうふだぞう

市内にお住まいの知的障害の方々の生活や仕事

の相談に応じています。

開所時間：午前 9 時から午後 7 時まで ※日曜定休

住所：調布市国領町 3-19-1

電話番号：042-487-4552 または 4655

FAX番号：042-487-7899

Eメールアドレス：choufudazou@jigyodan-chofu.com



③ 障害者地域活動支援センター「ドルチェ」

市内にお住まいの身体障害や高次脳機能障害の方々を中心に相談に応じてい

ます。

開所時間：平日・第 3 土曜 午前 9 時から午後 5 時まで

※土曜・日曜・祝祭日定休

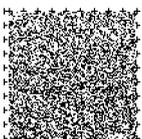
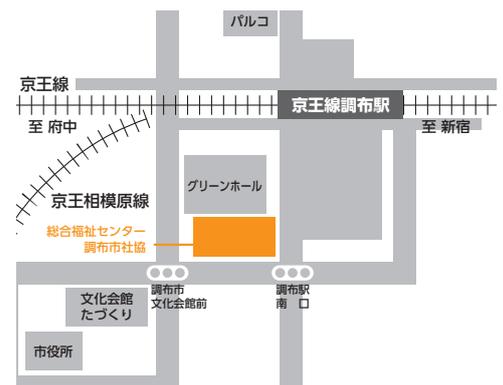
住所：調布市小島町 2-47-1

総合福祉センター内 4 階

電話番号：042-490-6675 (直通)

FAX番号：042-444-6606

Eメールアドレス：dolce@ccsw.or.jp



④ ちょうふしこ はったつ
調布市子ども発達センター

お子さんの発達のご心配や不安があります。

したらお気軽にご相談ください。

相談時間：午前 10 時から午後 4 時まで

※土曜・日曜・祝祭日定休

住所：調布市西町 290 - 49

電話番号：042 - 486 - 1190

(相談は予約制です)

FAX番号：042 - 486 - 3147

E メールアドレス：ayumi@w2.city.chofu.tokyo.jp



⑤ しゃかいふくしほうじん しんじゅかい ちいきせいかつしえん きぼうがおか
社会福祉法人 新樹会 地域生活支援センター 希望ヶ丘

市内にお住いの精神障害の方々を中心に相談に応じております。

開所時間：平日 午前 9 時から午後 5 時まで

：水曜・土曜 午前 9 時から午後 8 時まで

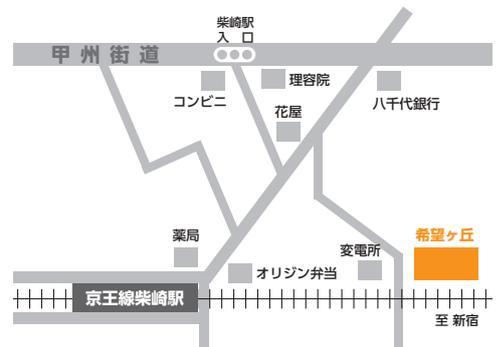
※日曜定休

住所：調布市東つつじヶ丘 2 - 29 - 1

電話番号：03 - 5314 - 7083

FAX番号：03 - 5314 - 7085

E メールアドレス：info@kibogaoka.biz



⑥ ちょうふし けんこうしえん
調布市こころの健康支援センター

市内にお住いの精神障害や発達障害の方の

就労支援や生活に関する相談に応じております。

開所時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分まで

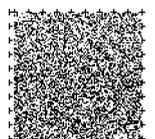
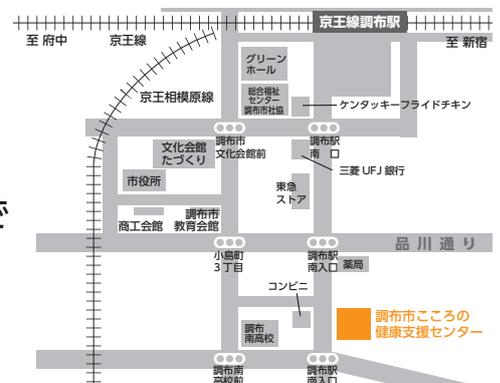
※日曜・祝祭日定休

住所：調布市布田 5 - 46 - 1

電話番号：042 - 490 - 8166 (予約制)

FAX番号：042 - 490 - 8167

E メールアドレス：chofu-shakyo@ccsw.or.jp





登録番号（刊行物番号）

2017-264

障害のある方のための災害時初動行動マニュアル
（知的障害者編）

発行日 平成30年3月

発行 調布市

編集 福祉健康部障害福祉課

〒182-8511 調布市小島町2-35-1

TEL 042-481-7089・7094・7135

FAX 042-481-4288

E-mail : syougai@w2.city.chofu.tokyo.jp

協力 調布市福祉作業所等連絡会

調布心身障害児・者親の会

印刷 株式会社 内田平和堂

